



日田市 農業振興 ビジョン

令和6年度取組内容

目次

1. 農業振興ビジョンの施策体系と推進委員会の役割・・・P2
2. 主要事業の各施策への反映状況について・・・P3～P14
3. 品目振興のR5実績値について・・・P15～P16

ビジョンの施策体系と推進委員会の役割

日田市農業振興ビジョン 推進委員会

進捗状況の検証・意見集約

☑推進委員会では、各種施策の推進に関連する市の主要事業や取組を挙げ、各施策にどう反映しているかの説明を行います。

☑また、4つの重点施策については、実現に向けた現在の進捗状況の説明を行います。

☑これらの取組内容について、委員の皆様からご意見をいただき、進捗状況の検証と今後の取組の改善に繋がります。

基本目標	基本方向 (目指すべき方向性)	基本施策	主要施策	ページ
日田市「強い足腰の強い農業と活気ある農村社会をつくる」	『稼ぐ農業』を目指す	I 日田の強みをいかす	1 果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大	…P21
			2 地域の特性をいかした作物の推進	…P23
			3 産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備	…P24
			4 足腰の強い畜産の振興	…P25
			5 内水面資源の維持と活用	…P26
		II 創意工夫で販路拡大を目指す	1 生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進	…P27
	2 百貨店・量販店・外食産業等のニーズに応じた販売企画・商品開発の推進	…P28		
	3 地域ブランドづくりとPR(各種フェアの開催等)	…P29		
	4 直売所を活用した地産地消・地産外消の推進	…P30		
	5 農商工親の連携・6次産業化への展開	…P31		
	6 農産物の輸出に向けた取組	…P32		
	『活躍する農業』を目指す	III 元気な担い手を育てる	1 担い手の明確化と農地の集約	…P33
			2 集落営農の育成・法人化	…P34
			3 新規就農者や農業後継者の確保・育成	…P35
			4 企業の農業参入等の推進	…P36
			5 包括的な農業支援体制の強化	…P36
	IV 使える農地を増やす	1 生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新	…P37	
		2 優良農地の保全と有効活用	…P38	
		3 耕作放棄地の解消	…P39	
	『感動する農業』を目指す	V やさしい農業を目指す	1 安心・安全な環境保全型農業の推進	…P40
2 地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現			…P41	
3 土壌診断・分析の実施			…P42	
VI 魅力ある農村を築く	1 美しい田園景観づくりの推進	…P43		
	2 鳥獣害に強い集落づくりの推進	…P44		
	3 グリーンツーリズムの推進	…P45		
	4 健やかな食生活の実現に向けた食育の推進	…P46		
重点施策		① 担い手をサポートする体制の整備	…P47	
		② 日田の風土に合った循環型農業の実現	…P48	
		③ 時代のニーズに応える日田ブランドの確立	…P49	
		④ 稼ぐ農業のための生産基盤の見直し	…P50	

各施策の推進に関連する事業の取組内容等について

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

※R5年度は決算額、6年度は予算額(単位:千円)
【重点施策】=ビジョンの重点施策事業 以降同様

①果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大 (ビジョンP21~22)

R5

- **おおいた園芸産地づくり支援事業 74,246** * 推進品目23,234、日田梨選果場改修67,467
⇒意欲ある園芸農業者の生産拡大、所得向上を目的に市が推進する品目に対して園芸産地づくり計画を策定し、必要となる栽培施設・機械等の整備や導入に対して支援を行った。
◎県事業：梨（棚張3戸 1.5ha・リース料補助 1戸）、ピーマン（ハウス整備 1戸 15a）、白ねぎ（機械・資材導入 6戸 移植機他）
◎県事業：日田梨選果場のシステムの更新並びに内部品位センサーの改修

- **園芸産地づくり計画策定・推進事業 444**

⇒「園芸団地づくり計画（梨、白ねぎ、ピーマン）」の推進に要する調査、機械等の導入実証、販売戦略の策定、研修会、試作等に要する経費の支援を行った。

- ◎県事業 梨：非破壊糖度計による糖度調査
白ねぎ：剪葉機の導入による作業の省力化、追肥機の導入による品質検証
ピーマン：赤色ネットの展張によるTSWV対策

R6

- **おおいた園芸産地づくり支援事業 1,208**

⇒意欲ある園芸農業者の生産拡大、所得向上を目的に市が推進する品目に対して園芸産地づくり計画を策定し、必要となる栽培施設・機械等の整備や導入に対して支援を行う。

- ◎県事業：梨（棚張替）

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

②地域の特性をいかした作物の推進（ビジョンP23）

③産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備（ビジョンP24）

R5

●産直野菜増産ミニハウス等導入支援事業（H21～） 6,222

⇒中山間地域の特色をいかした産直野菜等の生産拡大、通年出荷体制を支援し農家所得の向上につなげた。

◎新設パイプハウスの整備に要する経費の導入に要する資材費（2/3以内）

遊休パイプハウスの補修に要する資材費（2/3以内）

管理機の導入に要する経費（1/2以内）

灌水施設の導入に要する資材費（1/2以内）

地区	品目	棟数	面積 (㎡)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)
山田	ビーマン	2	360	2,508	1,626
須ノ原	スイカ	2	448	647	229
市ノ瀬	きゅうり	1	90	1,023	522
上津江	きゅうり	1	120	40	25
小迫	スイカ	2	496	4,103	2,306
山田	スイカ	2	500	2,757	1,514
合計		10	2,014	11,078	6,222

●津江地域産地づくり実証事業（市単） 2,000

⇒津江地域で生産された農産物の新しい流通や販路を構築するための実証実験を行うことで津江地域の農業を支援する仕組みづくりの検証を行った。また別途、県事業にて配食サービスのニーズ調査等を実施。

◎津江地域野菜集出荷事業（前津江地区の野菜集出荷の構築、有機農業、販路開拓の取組に対する支援）

◎津江地域農業振興事業（上中津江地区の推進品目の振興、地域で支える仕組みづくり等の定例会の開催）

R6

●産直野菜増産ミニハウス等導入支援事業（H21～） 8,666

⇒中山間地域の小規模農家を対象に、近年の異常気象による露地野菜の品質劣化の課題解決ため、産直野菜等の生産拡大を図り、通年出荷体制が確立するようミニハウス等の導入に対して支援を行う。

◎新設パイプハウスの整備に要する経費の導入に要する資材費（2/3以内）

遊休パイプハウスの補修に要する資材費（2/3以内）

管理機の導入に要する経費（1/2以内）

灌水施設の導入に要する資材費（1/2以内）

●前津江地域産地づくり支援事業（県単）補助率 県3/4 市1/5 2,375

⇒前津江産の堆肥や竹炭の生産基盤を構築し、加工品製造や配食サービスでの利用など、前津江産野菜の利用拡大の取組を支援し、前津江産野菜のブランド化の確立と普及につなげる。

◎堆肥を使った野菜づくり普及(762千円)、加工品商品開発(1,486千円)、配色サービスの取組に対する支援(252千円)

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

④足腰の強い畜産業の振興（ビジョンP25）

- R5** • **肉用牛生産基盤拡大支援事業**（H27～） **4,410**（11戸、42頭×105千円）
⇒『おおいた和牛』の安定供給に向けた生産基盤を強化し、安全・安心で美味しい『おおいた和牛』のブランドの確立を図るため、繁殖農家の増頭を伴う導入及び自家保留に対して支援を行った。
- **酪農支援対策施設整備事業**（H23～） **11,313**
⇒酪農の経営基盤強化を図るため、酪農家が行う省力化や暑熱対策など飼養環境の向上を目指した施設整備等の取り組みに対して支援を行った。
- | No. | 氏名 | 内容 | 数量 | 補助金額 |
|-----|--------|--------------|-------|------------|
| 1 | 榎安養寺牧場 | ミキサー、発電機（増設） | 1台、1基 | 7,615,000 |
| 2 | 榎本川牧場 | 換気扇、細霧装置 | 6台、一式 | 3,698,000 |
| 合計 | | | | 11,313,000 |
- **畜産飼料高騰特別支援事業** **24,954**（配合：43戸、10,058千円 粗飼料：40戸、14,896千円）
⇒コロナ禍の原油価格・物価の高騰は、飼料や原材料の多くを輸入に依存する畜産農家の経営にも打撃を与えていることから、飼料購入費の一部を補助することで経営安定と事業継続を図った。
- R6** • **肉用牛生産基盤拡大支援事業**（H27～） **7,350**
⇒『おおいた和牛』の安定供給に向けた生産基盤を強化し、安全・安心で美味しい『おおいた和牛』のブランドの確立を図るため、繁殖農家の増頭を伴う導入及び自家保留に対して支援を行う。
- **後継牛能力向上対策事業（酪農）**（R6～） **2,920**
⇒遺伝情報を活用し、効率的に優秀な素質を持つ乳用雌牛や乳用後継牛の確保を図るため、酪農家を実施する遺伝子検査及び雌性判別受精卵購入費の支援を行う。

⑤内水面資源の維持と活用（ビジョンP26）

- R6** • **内水面資源維持事業**（H17以前～） **4,220**
⇒市内河川における主要水産資源の維持・増殖を図るため、漁協が行う稚魚放流等を支援する。
◎日田漁協…アユの中間育成及びアユ・ヤマメ等の稚魚放流
◎津江漁協…ヤマメの中間育成及びアユ・ヤマメ等の稚魚放流

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

- ①生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進（ビジョンP27）
- ②百貨店、量販店、外食産業等のニーズに応じた販売企画、商品開発の推進（ビジョンP28）
- ③地域ブランドづくりとPR（ビジョンP29）

R5 ● 農産物販路開拓事業 6,205 【重点施策3】

⇒「西瓜」、「梨」、「ぶどう」を主力に、高級ギフトの開発、旬入りフェアやメディアプロモーションを展開し、日田産農産物の販路開拓を行った。

- ◎【福岡都市圏】西瓜・梨・ぶどう高級フルーツギフト商品の開発・高級フルーツ店舗販促
- 【県内】西瓜・梨・ぶどう旬入りフェア（メディア・イベントPR・店舗販促）
- 【関西圏】梨市場キャンペーン（市場、メディアPR、店舗販促）

【福岡戦略 定番ギフト】

商品名	販売数	販売額
尺玉スイカ	63個	567千円
天領スイカ	26個	208千円
日田産シャイン	77個	770千円
幸水梨	57個	342千円
合計	223個	1,887千円

【福岡戦略 厳選ギフト】

	商品名	売価	販売数	販売額
A	日田産シャイン	5,000円	162個	810千円
	日田産梨（豊水）	5,000円	123個	615千円
B	日田産シャイン・梨セット	7,000円	66個	462千円
C	日田産シャイン	10,000円	230個	2,300千円
	日田産シャイン	15,000円	28個	420千円
	合計		609個	4,607千円

【大分戦略 旬入りフェア】

店舗名	品目	販売額
パークプレイス大分	スイカ	437,637円
	梨	436,624円
	ぶどう	547,694円
トキハわさだタウン	スイカ	606,110円
	梨	982,172円
	ぶどう	787,169円
マルミヤストア金池店	スイカ	326,884円
	梨	214,912円
マルミヤストア戸次店	ぶどう	492,235円
	ぶどう	962,337円
合計		5,793,774円



旬入りフェア（トップセールス）



店頭販促（高級フルーツ店）

R6 ● 農産物販路開拓事業 832 【重点施策3】

● 農産物ブランド事業 2,700 【重点施策3】 商工労政課連携事業

● 農産物プロモーション事業 6,073 【重点施策3】 観光課連携事業

⇒「西瓜」、「梨」、「ぶどう」を主力に、高級ギフトの開発、旬入りフェアやメディアプロモーションを展開し、日田産農産物の販路開拓を行う。

- ◎【福岡都市圏】西瓜・梨・ぶどう高級フルーツギフト商品の開発、高級フルーツ店舗販促、スイーツフェア等
- 【県内】西瓜・梨・ぶどう旬入りフェア（メディア・イベントPR・店舗販促）

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

⑤農商工観の連携・6次産業化への展開（ビジョンP31）

R5 • 企業と連携した商品開発【重点施策3】

⇒有名企業や生産部会、県農協等と連携した日田梨を使用した商品の開発並びに販売促進を行った。

◎R3年9月 カゴメ株式会社 「野菜生活100日田梨ミックス」 *R4 一時休止

◎R4年6月 アサヒ飲料株式会社 「三ツ矢にほんくだもの大分県産日田の梨」 *R4 販売開始

◎R5年8月 カゴメ株式会社「野菜生活100大分日田梨ミックス」 *R5 再販売

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 「おおいた日田の梨ソーダ」 *R1 販売開始、R4 再販売

• 第9回全国梅干しコンクール開催 2,000

⇒全国から1,618品の出品があり、10品が特別審査、特別最優秀賞に大山町 五藤アンジェリン氏が選出



R6 • 企業と連携した商品開発【重点施策3】

⇒有名企業や生産部会、県農協等と連携した日田梨を使用した商品の開発並びに販売促進を行う。

◎R6年8月 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 「大分県搾り日田の梨ソーダ」 *R6 リニューアル

⑥農産物の輸出に向けた取組（ビジョンP32）

R6 • 日田梨輸出促進事業（H21～） 1,300【重点施策3】

⇒日田梨の海外輸出の拡大を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会を中心に海外における販促活動や商談会等を行うことで日田梨ブランドの確立に取り組む。

◎輸出国 台湾、香港、ベトナム、タイ、シンガポール他

目標指標
の検証

指標名	R4実績	R5目標	R5実績	評価
梨輸出量(t)	126.5	129	130.3	○

※各指標の評価欄は、目標に対する実績の達成度が100%以上で「○」、80～99%で「△」、79%以下で「×」とした（以降同様）

【基本施策Ⅲ】元気な担い手を育てる

①担い手の明確化と農地の集約（ビジョンP33）

R6 ・ 地域計画策定に向けて

基盤強化法の改正により、これまでの「人・農地プラン」に加え、10年後の目指すべき将来の農地利用の姿を描いた目標地図の作成等を追加し、農地の集約化に向けた取組の加速化を図る。

⇒R5年度地域計画作成地区（6地区）

◎中津江・上津江・大鶴・大山・西有田・天瀬

⇒R6年度地域計画作成地区（10地区）

◎三芳・朝日・前津江・小野・三花・東有田・高瀬・日田五和・夜明・光岡



<地域計画の話し合い>

目標指標
の検証

指標名	R4実績	R5目標	R5実績	評価
担い手への 農地集積面積 (ha)	1,969	2,144	1,840	△

②集落営農の育成・法人化（ビジョンP34）

R5 ・ 集落営農組織活動支援事業 6,000

⇒集落営農組織が取り組む共同機械導入に対して支援することで、農作業受託の共同化・効率化に繋げ、農地保全と生産性の向上を図った。

R5年度実績⇒ 2組織：コンバイン・トラクター他導入

目標指標
の検証

指標名	R4実績	R5目標	R5実績	評価
集落営農組織 法人数 (法人)	9	12	10	△



【基本施策Ⅲ】元気な担い手を育てる

③新規就農者や農業後継者の確保・育成（ビジョンP35）

R5

新規就農者総合支援事業（H24～） 10,874

⇒就農初期段階の青年農業者に対して支援を行い、早期の経営安定化と定着を図った。

◎給付金事業 継続対象者6組7名、R5新規採択者1組2名、機械設備導入1組2名

ファーマーズスクール研修事業（H28～） 1,027

⇒市が推進する品目の栽培・経営技術を研修するファーマーズスクールの設置により、新規就農者の確保・育成を図った。

◎梨研修生 1名、チンゲンサイ研修生 1名

農業後継者育成支援事業（H28～） 8,176

⇒国の経営開始資金の対象とならない親元で就農する農業後継者に対する給付金を給付するほか、青年農業者が行う研究会等の活動に対して補助を行うことで、農業後継者の育成を図った。

◎給付金事業 継続対象者2名、R5新規採択者6名

◎青年農業研究会への取組支援

⇒日田郡連によるポッドキャスト番組「ひた農らじお」がR3年12月よりスタート。
日田の農業の魅力を発信していく。



<日田チンゲンサイFS入校式>

R6

新規就農者総合支援事業（H24～） 42,000

⇒就農初期段階の青年農業者に対して支援を行い、早期の経営安定化と定着を図る。

◎給付金事業 継続対象者4組6名、R6新規採択者4組4名、機械設備導入3名

ファーマーズスクール研修事業（H28～） 1,477

⇒市が推進する品目の栽培・経営技術を研修するファーマーズスクールの設置により、新規就農者の確保・育成を図る。

◎梨研修生 1組2名、チンゲンサイ研修生 1名



<郡連のラジオ収録>

目標指標
の検証

指標名	R4実績	R5目標	R5実績	評価
新規就農者数（人）	37	31	33	○

【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

①生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新（ビジョンP37）

R5

• 農業体質強化基盤整備促進事業（松山地区） 3,223

⇒近年多発する災害の影響を受け、水路内が埋塞し農業用水を通水できない状態であるため、農業用水路の改修を行い、安定した用水供給を図った。

◎事業内容：農業用排水施設の変更

• 農業体質強化基盤整備促進事業（中山地区） 4,465

⇒農地の区画整理を行うことで農作業の効率化及び管理の省力化を図り、農地の荒廃化の抑制を行った。

◎事業規模：A=0.12ha 事業内容：区画整理

• 農地耕作条件改善事業（榑野地区） 18,553

⇒農地・農業用施設の復旧と同時に区画整理を行い水田畑地化により日田市の主要作物である梨の作付を行い安定した農家所得の向上を図った。

◎総事業費：139,500 事業規模：A=2.1ha 事業内容：区画整理、水源ボーリング、用水施設

R6

• 農業体質強化基盤整備促進事業（尾当地区） 30,050

⇒梨団地に農業用水を供給している深井戸水中ポンプの故障により、用水を供給できない状態であるため、水源ボーリングを行い用水を確保し安定した用水供給を図る。

◎事業内容：農業用水施設の整備 事業内容：水源ボーリング

• 農地耕作条件改善事業（榑野地区） 102,050

⇒農地・農業用施設の復旧と同時に区画整理を行い水田畑地化により日田市の主要作物である梨の作付を行い安定した農家所得の向上を図る。

◎総事業費：139,500 事業規模：A=2.1ha 事業内容：区画整理、水源ボーリング、用水施設

【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

②優良農地の保全と有効活用（ビジョンP38）

R5

● **中山間地域等直接支払い事業 110,769** *基本施策Ⅵ-①にも関連
 ⇒農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄地の発生防止や農地を保全するため、5年間の農地保全協定を締結した集落の活動の支援を行った。

◎事業期間 R2～R6（第5期）

◎集落協定数 108協定 対象面積 816.03ha

● **多面的機能支払交付金事業 26,937** *基本施策Ⅵ-①にも関連
 ⇒農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行うことで、地域資源の適切な保全管理の推進を図った。

◎取組組織 30組織 対象面積 850.03ha

（内 新規取組組織 小河内地区多面的保全組合 対象面積：2.88ha）



<住民と農業者による水路清掃>

目標指標
の検証

指標名	R4実績	R5目標	R5実績	評価
多面的機能 支払交付面積 (ha)	848	880	850	△

R6

● **中山間地域等直接支払事業 111,630** *基本施策Ⅵ-①にも関連
 ⇒農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄地の発生防止や農地を保全するため、5年間の農地保全協定を締結した集落の活動の支援を行う。

◎事業期間 R6～R10（第6期）

◎集落協定数 108協定 対象面積 815.64ha

● **多面的機能支払交付金事業 29,696** *基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行うことで、地域資源の適切な保全管理の推進を図る。

◎取組組織 29組織 対象面積 817ha

【基本施策Ⅴ】 やさしい農業を目指す

- ①安心・安全な環境保全型農業の推進（ビジョンP40）
- ②地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現（ビジョンP41）
- ③土壌診断・分析の実施（ビジョンP42）

R5

・環境保全型農業直接払事業（H28～） 1,014 *基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動の支援を行った。

◎対象団体：（農）小野谷 レンゲ作付17.45ha

・地域資源利活用推進事業 3,573

⇒耕畜連携による自然循環型農業推進のため、集落営農組織等が市内の畜産農家から堆肥を購入する経費を支援する。また、集落営農組織の堆肥散布機械の導入に要する経費の支援を行った。

◎ 堆肥購入（対象数量：1,962t 散布面積：90ha）、機械導入（堆肥散布機械×2台）

『（農）あさひ営農組合、榊栄ライスサポート』



R6 ・地域資源利活用推進事業 4,000

⇒耕畜連携による自然循環型農業推進のため、市内の農業者、集落営農組織等が市内の畜産農家から堆肥を購入する経費を支援する。また、集落営農組織等の堆肥散布機械の導入に要する経費を支援する。

◎ 堆肥購入（対象数量：2,000t 散布面積：100ha）、機械導入（堆肥散布機械×2台）

・耕畜連携に向けた講演会の開催 *日田式循環型農業推進協議会で実施

⇒耕種農家・畜産農家向けに「国産飼料（稲WCS）の活用について」及び、「飼料畑への堆肥の活用」についての講演会を開催して、耕畜連携による自然型農業の推進を図る。

◎講演会（「稲WCSの栽培から調整について」「稲WCSの給与方法について」「飼料畑への堆肥の活用について」（参加者：各19名））

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

①美しい田園景観づくりの推進（ビジョンP43）

R5 • 「つなぐ棚田遺産」

⇒大分県農業・農村多面的機能シンポジウムにおいて、令和4年度優良活動組織表彰

◎月出町地域資源保全組合



②鳥獣害に強い集落づくりの推進（ビジョンP44）

R6 • カワウ被害防止対策事業（H22～）200 *基本施策Ⅰ-⑤にも関連

⇒食害被害防止のため、漁協の実施するカワウの捕獲活動等の経費の一部を補助し、アユ等主要水産資源の漁獲量向上及び遊漁者の増加を図る。

◎日田漁協…カワウ被害防止に向けた駆除・防除事業を支援。

R5実績：カワウ駆除数：310羽

• 有害鳥獣捕獲事業（H22～）56,346 *林業振興課事業

⇒有害鳥獣捕獲班員の捕獲に要する経費の一部等を負担することで捕獲活動意欲の向上による捕獲数の増加、農林作物被害の減少に繋げる。

◎R5実績：捕獲実績イノシシ 1,612頭 シカ 2,554頭ほか

• 鳥獣被害防止総合支援事業（H21～）5,116 *林業振興課事業

⇒有害鳥獣被害軽減のため、集落で防護柵を設置すること等に対し支援を行う。

◎R5実績：設置地区数5 設置延長3,924m

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

③グリーンツーリズムの推進（ビジョンP45）

R5 • 農家民泊の取組

⇒農業体験ができる農家民宿の魅力を発信し、受け入れ体制の強化を図った。

◎農家民宿開業者数 20軒（大山地区12軒、津江地区4軒、その他4軒）

◎先進地視察4回（農家民宿、推進団体、古民家再生、食）、研修会2回（メンバー研修会、シンポジウム主催）

R6 • 農家民泊の取組

関係団体との連携

⇒農業体験ができる農家民宿を行う団体等で構成される団体との連携・情報共有を行い受け入れ体制の強化を図る。

◎農家民宿開業者数 4軒（大鶴地区1軒、津江地区3軒）

④健やかな食生活の実現に向けた食育の推進（ビジョンP46）

R5 • 料理教室への食材提供（R4～）

⇒食生活改善推進協議会をはじめ、様々な団体が行っている料理教室へ日田の川魚を食材として提供し、川魚の食材利用の普及を図る。

• 地産地消の取組

◎「憩いの杜 やませみ」による農業体験（前津江小学校（5年生））

◎地元の食材を学校給食に活用（ゴボウ、なす、きゅうり、小松菜、ほうれん草、サニーレタス、大根、白菜など）

R6 • 学校給食等への川魚の食材提供（H30～）

⇒市内の養殖業者が生産する鮎・ヤマメを、学校給食や講習会の食材として提供し、川魚食文化を継承と興味の醸成に繋げる。

◎給食提供：天瀬・大山・津江地域の小中学校

◎講習会：昭和学園高校調理科



食生活改善推進協議会考案レシピ



昭和学園高校調理科川魚講習会

品目振興のR5実績値について

指標名		単位	R4実績	R5目標	R5実績	評価	備考 (目標と実績の増減があった場合の理由など)
梨	生産量	t	2,687	2,650	2,757	○	着果良好であったが、その分全体的に小玉傾向となり、出荷量は微増となった。
ぶどう	生産量	t	166	164	172	○	シャインマスカットの栽培面積が増加しており、生産量が増加した。
スイカ	生産量	t	1,703	1,720	1,384	△	梅雨入り後の長雨、7月の豪雨により、中型後半、露地作で被害が発生し出荷量の減少となった。
白菜	生産量	t	2,451	3,200	2,595	△	生育初期の干ばつで生育が疎らとなった。また早生品種ではチョウ目害虫による食害もあった。
梅	販売額	千円	73,564	90,000	70,453	×	<ul style="list-style-type: none"> ・前年まで豊作が続き、成り疲れが見られた。地域により結実差が大きく収量に影響があった。 ・全国的に豊作傾向にあり、全体的に単価が下がった為、販売額が低下した。また、安価だった為、生産農家が自家加工用に使用した。 【今後の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・部会活動による収量の増加（養蜂事業、新改植事業）、各管理講習会（前提、防除等）の実施。
	(生産量)	t	182	—	181		
すもも	販売額	千円	82,745	95,000	52,211	×	<ul style="list-style-type: none"> ・地域により結実差が大きく、収量に影響があった。 【今後の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・部会活動による収量の増加（新改植事業）、各管理講習会（剪定、防除等）の実施。 ・開葎機を用いた人工授粉により結実の充実を図り、生産量の増加に努める。
	(生産量)	t	96	—	70		
白ネギ	生産量	t	62	78	43	×	<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な病虫害の発生もあり、防除が遅れ収量減となった。 ・除草作業が追い付かず、細物の出荷が増えたため収量が伸びなかった。
ピーマン	生産量	t	28	90	22	×	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術及び日田地区にあった栽培方法の確立が出来なかった。 ・病虫害の発生を止めることができず、早期での切上がりととなった。 【今後の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会等を通じて、栽培の基本を学び日田地区にあった栽培方法を確立する。 ・昨年の栽培歴を確認し、早めの防除を行い病虫害を最低限に抑える。
にんにく	生産量	t	4	11	1	×	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジ球、2次成長が多く球の収穫が減少。 ・生産者が販売先を持っているため、より単価が良い販売先に出荷。 【今後の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・販売価格の伸び悩み、各生産者で販売先を持っており価格面、経費を考慮しているため、販売先を確保し手取り増の達成を早期に行う。

えのき茸	販売額	千円	647,573	799,000	758,651	△	<ul style="list-style-type: none"> ・単価が昨年に比べ高値で推移した。 ・栽培本数の増加 【今後の取組】 ・生産部会による施設巡回と栽培指導を行う。 ・良品質な原木の安定供給。 	
	(生産量)	t	2,621	—	2,702			
生椎茸 (原木・菌床)	生産量	t	17	25	15	×	原木椎茸については、高齢化に伴い年々生産者減。 菌床椎茸（サンマッシュ）についても、4名中1名が生産休止状態	
乾燥椎茸 (原木)	生産量	t	104.6	100	80.3	△	<ul style="list-style-type: none"> ・春先の記録的な高温や菌の伏せ込み量の減少に伴うもの。 【今後の取組】 ・しいたけ版FSを活用した新規参入者の確保 ・県単事業を活用した機械、施設等整備による省力化と増産 ・種駒補助事業の実施による増産意欲の喚起とブランド「うまみだけ」生産者の増加 	
クレソン /ハーブ	販売額	千円	77,172	100,000	63,734	×	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期の高温の影響により生育が悪く、出荷量に大きく影響した。単価は、昨年に比べクレソンが高値推移し、ハーブ類は昨年とほぼ変わりなかった。 【今後の取組】 ・各生産部会で圃場巡回を実施し、育成状況の確認や栽培方法の指導を行う。 	
	(生産量)	t	26.5	—	20			
わさび	生産量	t	19	34	21	×	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による生産規模の縮小 ・伐木による林間栽培面積の減少（前年比約2割減少） 	
山椒	生産量	t	5	6	6	○	・生産量は横ばいであるが、加工原料の需要が高く、豊産性の高いブドウ山椒への改植を進める。	
米	栽培面積	ha	990	981	975	—	<ul style="list-style-type: none"> ・県から通知される生産目安による実績値 	
	生産量	t	4,900	4,807	4,728	—		
産直野菜	日田	販売額	千円	324,518	321,000	328,609	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冬場の暖冬の関係で、若干出荷量の増加がみられたことや新規店舗の開設により、販売額が増加した。
	大山	販売額	千円	942,420	1,135,000	968,059	△	<ul style="list-style-type: none"> 【今後の取組】 ・土づくりを主体とした農産品の生産を一層充実する。 ・新規出荷者の獲得。
肉用牛	出荷量	頭	1,241	1,360	1,448	○	・酪農家が多角経営で繁殖牛部門へ取組始めたため。	
乳用牛	生乳生産量	t	38,496	40,000	38,506	△	・国の牛乳生産抑制、減頭方針により頭数を増やさなかったもの。	

※各指標の評価欄は、目標に対する実績の達成度が100%以上で「○」、80~99%で「△」、79%以下で「×」とした。